

黒い山

片野晃司

わたしたち、ちいさな山のちいさなおうちで、朝食のお皿を並べて二枚、三枚、並べているうちに足りなくなつて、並べても並べても足りなくなつて、テーブル継ぎ足しても足りなくて壁つきやぶつて外に伸ばして、それでも足りなくて木の下に小屋を作つて、木の上にも作つて、枝を組んで葉っぱを乗せて、穴を掘つて土をたいらにして、雨で流されて風で飛ばされて火事で黒焦げになつて、それでもすこしは生き残つて、ちいさな山にちいさなおうちを建てて、また殖えて殖えて。

プリン食べたい。お皿に出してプリンを食べたい。牛乳はよく噛んで、コップも噛んで、お皿も噛んで、テーブルも、床も、土台も岩もみんな噛み砕いて、ベルトコンベアで運んで

おいしくたべられて、肉やら皮やらいろいろうまいぐあいに分けられて、めだまの穴には窓
ガラスをはめて、胸のなかはひろい食堂にして、お皿出して、ひっくりかえして、みんな嚙
み砕いて、積み上げて山にして。